

東海支部愛知地域会 2024年度 第4回役員会議事録

日 時 : 2024年9月12日(木) 17:00~19:20
 場 所 : 昭和ビル5階 会議室 (名古屋市中区栄四丁目3番26号)
 ※WEB会議を併用
 出 席 : 野々川光昭 地域会長 近藤万記子 西村和哉 間瀬高歩 各副地域会長
 (順不同・敬称略) 澤村喜久夫 本部理事・会長補佐 生津康広 会長補佐 森哲哉 直前地域会長
 下線オンライン出席 笹野直之 内藤正隆 東福大輔 川本直義 寺田智之 関口啓介 金山美登利 中川竜夫
 柳澤力 井村正和 各委員長・副委員長
 川口亜稀子 恒川和久 黒野有一郎 各委員長
 水野豊秋 吉元学 両監査
 委任状出席: 高木耕一 副地域会長 花井秀哲 副委員長
 オブザーバー: 鈴木利明 顧問
 岩井隆浩 JIA・愛知賛助会、矢田義典、田中英彦
 欠 席 : 石川英樹 委員長
 議 長 : 間瀬高歩
 議事録作成担当委員会: 建築相談委員会
 議事録署名人: 森哲哉 澤村喜久夫
 前回議事録確認: 2024年度第3回議事録 (グーグルドキュメントで回覧、確定)

議 事

1. 地域会長挨拶

支部主催の山本理頭講演会/祝賀会を開催した。短い時間で支部/地域会のメンバーが準備し非常に良い会になったことに感謝する。これまで支部事業に協力いただいた山本氏に恩返し出来たのではないかな。支部住宅建築賞も2日間にわたり開催された。9月は岐阜地域会主催の高山ツアーや賛助会主催の北陸CPD研修旅行等イベントがありハードだが宜しくお願ひしたい。11日の賛助会役員会にも支部・愛知の役員が参加し会員と賛助会の関係強化について意見交換を行った。災害対策および予算は支部・地域会で今後協議する予定。

2. 審議事項

① 事業報告書 JIA建築ワークショップ@豊橋 第19回「お店をつくろう！

～小さなまちづくりプロジェクト」について (黒野)

資料-1

事業計画書の回数の訂正(18→19)、台風が迷走していた時期に当たった為、日程を27日に変更して実施し、表彰式も中止とした。展示には300人を超える参加があり意義はあったと考える。収支決算は資料-1の通り。写真はチャットで送信する。

- ・新しい要素を入れれば本部助成が受けられると思うので来年度検討してはどうか(水野)。
- ・JIAだけでやっている訳ではなく小学校の対応などもあるが、検討してみたい(黒野)。
- ・承認。

② 事業計画書 設計業務等の損害賠償保険研修会(ケンバイセミナー)について(寺田) 資料-2

説明及び事例紹介、質疑応答、アンケートを行う予定。支部と共催の為、5千円づつ折半予定。9/5に支部の方は既に承認を得ている。講師、日時、場所等は資料-2チラシ参照、WEB併用、申込方法はチラシのQRコードから入りグーグルフォームにて。

- ・支部と地域会の支出金は共に収入欄に記載すべき。収支部分は両者併記で良い(水野)。
- ・事業計画書は支部と地域会で別々に作成すべきだが、最下段カッコ書き記載などで使い分ける(西村)。
- ・既に加入している会員の勉強会だが、JIAの大きな収入にもなっているので、他会のケンバイからの移行が可能であることや、移行を促すようなキャッチコピーがあっても良いのでは(吉元)。
- ・事業計画書を修正することを前提として承認。
- ・次回支部役員会の後リアルで行う為、地域会の方にもリアルやWEBで是非参加いただきたい(野々川)。

③ NAGOYA Archi Fes(NAF)2025 中部卒業設計展協賛について(野々川) 資料-3

支部役員会では支部/愛知3万円づつ計6万円で支部の分が承認されているので、愛知の分3万円を承認いただきたい。

- ・昨年の協賛(資料-3)30ページについて、支部長名/地域会長名等文字は減らし、団体名やロゴ等を他の協賛のようにインパクトのあるデザインにした方が良い、という意見が支部では出た。また、今年から一口3万円に値上がっている為、近々にNAFのメンバーに支部長とヒアリングを行う予定(西村)。
- ・承認。

④ 事務局PC購入について(野々川)

資料-4

全国大会など事務局が外出する時はノートが便利で、2台目もノートにし、外付け HD は年数不明のため、クラウドストレージにしてはどうか。金額は資料-4 参照。購入のOA機器は支部との共有は難しいので前例に従い愛知地域会の購入としている。2 社見積をとり、コピー機のメーカーと同じにするとメンテなど利便性があると思われる。モニターは既存のまま使用予定。ノートであれば既存モニターとの2画面+外付け既存キーボードを利用できるので現在より便利になるとの事務局の意見あり。クラウドに関しては次回支部役員会で支部負担を審議予定。

- ・OS の費用は含まれているのか(近藤)。
- ・オフィスソフトは搭載なしだが OS は初期搭載と考える(野々川)。
- ・承認。

⑤事業報告書 ホームページ更新 (川本)

資料-5

名簿の更新内容に合わせて更新した。名簿作成後の更新等にも対応しており 8/7 に完了、公開している。手戻りが無く値下げをしてもらえた。事業報告書の地域会支出金は収入の間違いである。作業を分担できなかったのが今後の課題。

- ・(事業報告書を修正し) 承認。

3. 協議事項

① Communis 「Plant It Green! 」開催後援名義依頼について (矢田)

資料-6

建築家、名古屋市、学生などの任意団体である。市の外郭団体主催のアート事業助成に 74 団体応募の中から 5 団体が採択され、その 1 つに選ばれた。都市/建築/音楽などをつなげるプロジェクトとして評価された。緑や庭に関してと生物多様性を包含している。講演会を 3 回、試写会+シンポジウムを 2025/3/1 に開催予定、日時未定だがワークショップも開催決定。講師は確定(資料-6 参照)でビデオレターでの講師講演を協議中。100 万円の助成+数社の協賛にて参加者は無料。公益性が高いとの市の評価。市の後援は確定し仏大使館からも後援をもらう予定。メインメンバー 4 人のうち JIA 会員が 3 名なので後援名義をいただきたい。JIA 会員の参加は可能で CPD も確認中だが市民向けが前提。

- ・総務委員会でも協議した。公益活動をする会員の支援にもなる。審議にしたい(野々川)。
- ・協議事項から審議事項に変更した上で承認。

② JIA 愛知災害対策会議について (野々川)

資料-7

支部/愛知災害対策会議を開催し、奥野本部災害対策委員にレクチャーいただいた。奥野氏配布の資料、当日出た意見を添付。今後愛知地域会の活動内容案を本部 HP を引用(黒字部分)して仮策定(青字部分、特に重要な部分をボールドで記載)した。フェーズ 1~3 に分けて記載。最後に、愛知の組織の分担案を作成した(資料-7 参照)。支部との連携も重要であると考え。

- ・9/14~15 で高岡市に文化財ドクターで現地入りする。アーキテクトで発信したい(吉元)。
- ・文化財ドクターは JIA 単独事業ではなく、本部や原氏も公表/発信には大変気を使っている、掲載する場合は本部保存再生会議の金山委員長に許可が必要と考える(川口)。

③ JIA 愛知役員会議決権について (笹野)

資料-画面共有

議決権について再確認したところ、食違いが発生しており、2 人の副委員長に議決権がある委員会が存在している。また、トータル 25 人に満たない為に WG 委員長にも議決権を与えるのが良いと考えた。ただし、正会員ではない WG 委員長は議決権無しとの意見が総務委員会で話し合われた。

・愛知の規約では会長/副会長を除く役員で 20 名までとなる。改定案で 18 名、委員長兼任の方がいるので本来 19 名、太幡先生が正会員になれば 20 名となる。広報委員会からももう 1 つ議決権が欲しい旨の要望もあったので、次年度検討してはどうかと話し合った(野々川)。

- ・昨年末に説明を受けた時は委員会で 2 つの議決権という話しだったが増えたという事か(金山)。
- ・沢山の方に参加してもらいたいということと、規約上議決権は職ではなく正会員個人に与えることを鑑み、事業委員会は副委員長 2 名に議決権を与えることで良いと考える(野々川)。
- ・会期の途中でルールを変えることはいかがかと思う。出席成立の前提も以前の会議も変わる。余談だが、役員会の次第表記も正確に議決権のある人を全て記載すべき(水野)。
- ・次回以降の審議とする(間瀬)。

4. 専決事項 (後援名義・広告掲載・協賛など)

① 一般社団法人名古屋建築設計研究会 (NSK) 講演会の後援について (野々川、水野)

建築ジャーナリスト 淵上正幸氏「現代世界建築を展望するー9」(10/25) 資料-8

毎年 NSK が開催し後援。懇親会もあり面白い講演会なので是非出席されたし(野々川、水野)

② (一社) 日本建築協会東海支部 会誌「東海の建築」協賛広告について (野々川) 資料-9

毎年協賛、24,000 円。会長名は野々川に変わる。

- ・昨年までは協賛広告を出していない。今までは会員名簿を発行しておりそれに広告を出してい

たが、建築協会が名簿の発行を辞めたために会誌の方に切り替えたという経緯である（川本）。

5. 報告事項

(1) 委員会、地区会、研究会報告

- ① 総務委員会（笹野）：9/9に委員会開催。
- ② 広報委員会（東福、川本）
委員会を月1回開催。事前情報も必要と考え次回はコンペについての水谷氏の記事を記載（東福）。
8/22に委員会開催。HPについて議論し、支部と地域会HP双方を関係付けるべきとの意見あり。
次回9/26委員会にてHPに掲載すべき内容を議論予定。他の支部/地域会HPを参考にする（川本）。
- ③ 職能・資格制度委員会（寺田、関口）
8/30委員会開催。本部特別委員会の進捗に関し、特に士会との連携、建築基本法、資格制度に関して議論。他に、ケンバイセミナーを計画、建築家の監理について議論している（寺田）。
職能資格制度委員会の中で、建築基本法への対策WG作成の動きがある（関口）。
- ④ 事業委員会（金山、花井、中川）
9/3委員会開催、豊橋WSの参加者意見交換会、岐阜地域会による一寸格子WSを各務原市で10/5開催予定で、愛知からも準備/企画など協力し話し合っている。猪高小学校のWSが11、12月に控えており、どのように準備し継続していくか議論した。次回10/16委員会にて猪高小学校WS準備会議を行うため、事業委員会以外でもWSに協力いただいている方は是非参加されたし（金山）。
- ⑤ 建築相談委員会（柳澤）
18件に伸び既に例年の1年分に相当。現地視察希望の相談が多いが、首都圏相談委員会が現地視察までやっておりその案内が住まいるダイヤルに行っていると考え。愛知では現地視察はJIA相談内ではやらない規定で地域ごとに違うことが問題。10/17開催の愛知県弁護士会との意見交換会は内容未定だが相談委員会以外でも参加可能なので興味ある方は是非参加されたし。
- ⑥ 住宅研究会（森）
建築家+と合同で8/21に第3回委員会開催。普段心がけていることや掲載に繋がる事例を発表。8/25近畿支部との交流、見学、懇親会を行った。次回10/26は左官の得意な工務店を見学、レクチャーを受け、そこで委員会を開催予定。冊子の構成を詰めて行きたい。
- ⑦ 保存研究会（川口）：保存研究会としての活動は無し。
- ⑧ 大学WG（野々川）：9/27に第1回目の講義が行われる予定。
- ⑨ 行政WG（恒川）：8/23開催、西尾記録集400部袋詰め後郵送。研究会開催検討。次回9/24予定。
- ⑩ 建築家+WG：住宅研究会に同じ
- ⑪ まちづくりWG（黒野）
持ち出し役員会を引き受ける予定で調整中。10月11日に別府大会のプレで全国街づくり会議主催の会議が行われる予定。また、11/28の本大会街歩き企画も大分大学の姫野ゼミの学生さんも来られて興味深いので紹介する。
- ⑫ JIA愛知・賛助会（岩井）
支部長、地域会長と今後の正会員との関係のあり方について、CPD研修会/見学会拡充など議論した。来週のCPD研修会/見学会は19名が参加予定。ゴルフコンペを12月に開催予定で詳細は担当者から連絡する。

(2) その他報告

- ① 退会届 正会員「湯浅一典」「山本敏彦」（内藤）
2名から退会届けあり。高齢(代替入会あり)/高齢 資料-画面共有
- ② 建築八団体連絡会・名古屋市懇談会(8/5)（野々川） 資料-10
JIAからは蒲郡学生コンペと西尾コンペを紹介、他、資料の通り。
- ③ 第160回建築八団体連絡会(8/5)（野々川） 資料-11
災害に対して各団体からの情報を共有。今後継続して協議する。
- ④ JIA愛知美術サロン(2005年秋設立)解散報告(田中)
第1回目立ち上げ時から6名逝去。数名の入会はあったが若手入会が無くこの2年休眠状態。デジタルの普及で画材屋も閉店し画材入手も難しい。このような理由で19年続いたが解散となった。

(3) 支部報告

- ① 支部役員会 9/5（近藤）
支部長挨拶で、士会連合会古谷会長の建通新聞記事を引用し災害発生前の体制強化、支部のあり

方の見直し、賛助会との関係強化等を言及。卒業設計とケンバイセミナーの審議は愛知に同じ。10月より予算に関し各委員会ヒアリングを行う。山本理顕講演会収支報告。支部の役員会出欠方式がズームのみと、リアルを隔月で行いペーパーレス化も進めることに。三重地域会より、県から四号廃止に関する法改正/確認申請相談のサポート依頼の打診が JIA、士会、事務協にあり。愛知は士会に打診が来ている模様（役員会後の情報）。ケンバイ書式の修正、リフレッシュセミナーの費用負担について協議。山本理顕講演会 150 名、懇親会 100 名参加。来年の支部大会静岡の提案あり。

- ② 2024 年度 JIA 事業活動助成について（10/31 締切）（近藤） 資料-12
一寸格子等、新規事業になりそうならガイドライン等を読み込み是非応募を。
- ③ JIA 国際交流活動支部事業助成について（9/30 締切）（近藤）：資料参照 資料-13
- ④ JIA 建築家大会 2024 別府へのお誘いについて（野々川）：支部 55 名目標現在 20 資料-14
- ⑤ JIA25 年建築選審査委員会（近藤）：愛知から 2 件応募あり。 資料-15

（4）本部報告

- ① 第 318 回理事会（8/23）（澤村）： 資料-16
準会員申込書の推薦者欄等全国統一は再審議、リフレッシュセミナーとメンバーネットワークサービスは資料の通り。文化財修復塾はヘリマネ取得者向けのみ募集で 9/16 申し込み締め切り。
 - ② 総務委員会（8/19）（澤村）：理事会報告と重複のため省略。 資料-17
 - ③ 財務委員会（8/20）（水野）：会員 3000 人を切る段階の検証を各支部の状況報告も踏まえ議論、固定費と受取会費の割合がコロナ前後でほぼ変わらない等、危険な要素あり。活動助成の報告書提出が遅かったり委員会での再審議が多く、期限の厳格化や補助取消等を検討。 資料-18
 - ④ CPD 評議会（7/26）（近藤）：資料の通りで補足説明無し。 資料-19
 - ⑤ 住宅等連携会議（8/7）（西村）：8/27 に矢田氏の学生時代からの文房具作り等、建築以外の活動インタビューが行われ本部 HP に掲載予定。10/24 JIA マンス内容決定。 資料-20
 - ⑥ 災害対策ネットワーク（野々川）：メンバー決定の報告。 資料-21
 - ⑦ 広報委員会（8/6）（近藤）：議事録通りで特別報告無し。 資料-22
 - ⑧ 支部運営費について（西村）：支部運営費は資料の通り。リフレッシュマンセミナーは支部 9 万+ 参加 3 人×1 万=計 12 万の計上だが個人負担分 2.5 万をどうするか課題。 資料-23
- ※ 追加（間瀬）：2024 年度の本部選挙管理委員会決定。東海北陸で 1 名 1 年おき、今年度は北陸の方。

6. その他報告

- ① すまいる愛知住宅賞現地審査・最終審査、(9/4、5)（野々川）：応募 8 作品から 6 作品が選定された。ゆとりあるすまい講演会(10/31)（野々川）：チラシの通り。 資料-24
- ② 愛知まちなみ建築賞第1回選考委員会(9/2)（野々川）：応募 48 作品から 19 作品が 2 次審査へ。
- ③ 愛知県から「非住宅木造建築技術者育成講習の受講者募集について」（野々川） 資料-25
林務課主催、JIA からも受講申込あり、申込者は過去の講座を録画視聴可能。資料回覧、サポートセンター紹介もあり。

7. 監査意見

（吉元）：山本理顕氏講演会の協力に感謝。JIA と士会の協力も大事だが違いも大事であると講演会を聞き感じた。古谷建築士会連合会会長の言葉も整理して受取る必要があると考える。

（水野）：山本理顕氏講演会が刺激的だった。本部報告のように支部役員会の次第も付ければ進行が簡潔にできるのでは。リフレッシュマンセミナーの個人負担 2.5 万円について支部又は地域会で補助をするか今回議論すべきだったので今後に期待する。本部の WEB 名簿は掲載内容を個人個人が設定し記入する形とのこと、建築協会は紙名簿を辞めたこともあり、愛知地域会も検討しては。毎年の広告費募集のウエイトが大きく、他の時に頼み辛い。是非検討されたし。

・今年度は予算計上及び発行済みの為、来年度予算に対する議論となる（野々川）。

次回役員会 2024 年 10 月 18 日（金）17：00～19：00（JIA 東海支部事務局 会議室・WEB 会議併用）

次回議事録担当委員会：住宅研究会

（次回総務委員会：2024 年 10 月 15 日（火）18:00～）

資料提出先：笹野直之 総務委員長

議事録作成：柳澤力

議事録署名人：森哲哉

議事録署名人：澤村喜久夫